

The Asahi Shimbun		選挙名	勝敗	
<b>政権発足後の自民党の 主な選挙結果</b>  推薦候補や地方組織による支援を受けた候補などの勝敗。千葉市長選は推す候補がいらない	1月27日	岐阜知事選	☹️	…勝ち
	3月17日	千葉知事選	☺️	
	4月 7日	秋田市長選	☺️	
	14日	青森市長選	☹️	…負け
		富山市長選	☺️	
	21日	名古屋市長選	☹️	
		松江市長選	☺️	
	28日	参院山口補選	☺️	
	5月19日	さいたま市長選	☹️	
	26日	千葉市長選	不戦敗	

高い支持率を維持する自民党が地方の選挙で勝ちきれない。19日のさいたま市長選では、公明党とともに推薦した候補が完敗。県庁所在地の市長選に限れば、政権発足後は3敗目（3勝）となった。党内には高支持率による緩みを懸念する声も出ている。

■緩みに懸念の声

経済政策「アベノミクス」の成果に自信を深める安倍晋三首相だが、地方選の結果には口が重い。

「マクロ経済政策と地方自治はまったく関係がない。判断材料になっていないのではないか。首長選は全面的に党に任せている」

20日の参院決算委員会。さいたま市長選の敗因を問われた首相は、政権運

営との関連を否定した。

自民党としてはかなり力を注いだ。

埼玉県連幹事長を擁立し、石破茂幹事長や麻生太郎副総理ら政権幹部も応援に入って「安倍政権を前面に出した」（県選出衆院議員）という選挙戦を展開。参院選埼玉選挙区で公認する候補の推薦を自民党から得た公明党も推薦を出し、全面支援した。

だが、元自民党県議の現職に1・5倍近い得票を許した。党選対関係者は「地元市議が全然動かなかった」と敗因を分析。候補選びが出遅れ、自民党の支持層が現職に流れたという。

埼玉県選出の衆院議員は「これだけ支持率が高いから勝てると思った部分もあった」と緩みを指摘する。

先月の青森市長選でも自公両党推薦の候補者が敗れた。青森県選出の国会議員は「アベノミクスによって株価が好調といっても、地方には波及していないこともあるのではないかと」、「安倍人気」の上滑りを警戒する。

4年前のこの時期の政令指定市長選で連敗し、民主党に政権交代の流れを作られた苦い経験もある。6月に控える静岡県知事選は「厳しい闘いになる」（選対関係者）との見方が強く、幹事長経験者は「地方選で負け続けると、『参院選は大丈夫なのか』との声も出てくる」と悪い流れを懸念する。

石破氏は20日の党役員会でこう幹部を引き締めた。「地方選が残念な結果のときは『国政とは関係ない』というのが決まり文句だ。だが、今回の結果を糧にして取り組む必要がある」